

# 全国統一へ街道整備

1600年の「関ヶ原の

戦い」に勝利した徳川家

康は全国を統一するため、

街道整備を始めました。

1601年、街道沿いの集

落である「宿駅」に人や馬

を停めておき、宿駅ごとに

人や馬を交代させながら

書状や荷物を運ぶ「伝馬」

の制度を始めました。

江戸城と朝廷のある京

都との連絡をスムーズに行

うため、宿駅には馬36匹(※)

を置くことが義務付けられ

ました。宿駅は馬を飼う代

わりに、屋敷や敷地に課税

される年貢の一部を免除さ

れたほか、旅人を泊めた

り、荷物を運

んだりして収

入を得ること

も認められま

した。幕府は

宿駅と宿駅の

間に松を植え



藤枝市の史跡に指定されている同市上青島の一里塚跡では、旧東海道でもある県道沿いに今も松並木が見られる

ることを勧め、1里(約4  
キ)ごとに塚を置く「一里塚  
も設置しました。

幕府は東海道のほか、

中山道、日光街道、奥州

道中、甲州道中の「五街

道」を整備しました。東

海道53宿のうち静岡県は

22宿あり、重要な地域

だったことがわかります。

道が整備されたことで参

勤交代により多くの大名

が通り、さらに庶民の旅

も広がって、経済的にも

発展しました。

※宿駅に常備すべき馬の数え方



とうかいどう ごじゅうさんつぎのうち 東海道五拾三次之内  
ふじえだ じん ぼつぎたて うたがわ 藤枝 人馬継立(歌川  
ひろしげ ふじえだ しきょうど ほくぶつかん ぶん 廣重、1833年ごろ、藤枝市郷土博物館・文  
がくかんぞう げんざい ふじえだ し ふじえだ かみでん ま ころばん 学館蔵)。現在の藤枝市藤枝、上伝馬交番付  
きん すいてい 近と推定されている

かんしゅう おうみ としひで ぶん かつちゆうぶん かざいだいに か しゅにんぶん かざいちゆうさ かん なかむらやういちろう しずおか しきき はくぶつかんちよう ほんごうかすと どうきようだいしりようへんさんしよきようじゅ (監修: 近江俊秀・文化庁文化財第二課主任文化財調査官、中村羊一郎・静岡市歴史博物館長、本郷和人・東京大史料編纂所教授)